

諮 問 映 画

映 画 名	パトリックとクジラ 6000日の絆
制 作 者 等	ウォルター・ケーラー、ヴォルフガング・クノップラー
内 容 ・ 推 奨 理 由 (案)	<p>本作品は、謎だらけのクジラの生態を明らかにしようと世界中の海を旅するカメラマンと、クジラの家族や仲間同士の強い絆に焦点を当てたドキュメンタリー作品である。</p> <p>水中で音を発信し仲間と交信したり深海に潜り主食のイカを食べたり、直立して休息を取るなど、普段触れる機会のないクジラの生態について精細に描かれており、青少年が知識を身につけ、教養を深める一つの契機となる。</p> <p>危険にさらされようともクジラ同士で助け合う様子や、一つの家族の中で生涯を過ごす絆の強さを通し、青少年の仲間や家族を大切にする心を育てるものである。</p> <p>雄大で息を呑むような美しい海の描写や、荘厳なクジラの巨体が大迫力で表現されており、青少年の美しいものに対する感性を磨き、育てるものである。</p> <p>言葉が通じないクジラとどのように意思疎通を図り理解するか、何故クジラが集団で座礁してしまうのかということなどを考えさせられる点において、青少年の思考力や観察力を養うものである。</p> <p>本作品は、条例施行規則第2条の優良図書類等の推奨の基準 第二号 青少年が知識を身につけ、教養を深めていくことに役立つものであること。 第三号 青少年の人を慈しみ、大切にする心を育てるものであること。 第四号 青少年の美しいものに対する感性を磨き、育てるものであること。 第五号 青少年の思考力、批判力又は観察力を養うものであること。</p> <p>に該当し、青少年（主として小学生4年生以上）を健全に育成する上で有益であると認め、小学4年生以上を対象に推奨を行う。</p>